

## 会 議 録

会議名	第1回 宇都宮市環境基本計画ワーキングチーム会議					
開催日時	平成13年12月4日(火) 午後7時00分～午後8時45分					
開催場所	宇都宮市役所 14A会議室					
出席者	ワーキング	小磯 順子	葛谷 理子	眞野 潤子	大野 邦雄	森本 久子
	チーム	仁平 隆史	高沼 恭一	手塚 賢次	三宅 徹治	平野 正人
	メンバー	斉藤 軍夫	児玉 博利	林 常夫	江川 靖	村上 孝子
	事務局	福田宇都宮市環境課長, 他5名				
公開・非公開	非公開(本会議において会議の公開・非公開を決定するため)					
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「環境基本計画ワーキングチーム」について</li> <li>2. リーダー, 副リーダーの選出について</li> <li>3. 会議及び会議録の公開について</li> <li>4. 宇都宮市環境基本計画の策定について</li> <li>5. アンケート調査の実施について</li> </ol>					
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境基本計画ワーキングチームの目的, 役割, 会議の運営方法等について了承</li> <li>2. 委員の互選により, リーダーに三宅徹治氏, 副リーダーに森本久子氏を選出</li> <li>3. 原案どおり公開することと決定</li> <li>4. おおむね了承。今回の協議結果をもとに, 事務局整理の上, 次回継続協議</li> <li>5. アンケート調査の実施について了承</li> </ol>					
<b>発言要旨【議題4, 宇都宮市環境基本計画の策定について】</b>						
児玉博利 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境という抽象的な大きい範囲での計画であり, 8ページの(3)の「可能な限り数値目標を設定し, その進捗状況が管理できる計画」というあたりに焦点を合わせないと, 例えば「ごみの減量化に配慮する」といった計画であっても, それではどのようにして配慮すればよいのかというふうになってしまう。</li> <li>・市役所内であっても, 例えば「山を守ろう」といっても都市計画課が都市計画を許可してしまえば, 山は守れないということがあるので, 効果的な計画とするためには, 縦横を結んだ計画にして, 例えばごみに焦点を絞れば, 燃やすとダイオキシンが出るというのであれば, 市が回収したごみを堆肥化できないか, とか, それができるとする, 「堆肥化率」を毎年公表していくというように, 具体的な計画にしていく必要がある。</li> <li>・次回以降出てくる素案を作成するときに考慮して頂きたい。</li> </ul>					
葛谷理子 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料9～10ページの計画の位置づけの中で, 環境基本計画というのは「環境面での総合計画としての位置づけ」とあるが, ごみ処理基本計画や都市マスタープランというものと, 環境基本計画とはどちらが上位なのか。</li> </ul>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の意見では、環境基本条例あるいは環境基本計画というのが、これから宇都宮市が行っていくいろいろな事業の上位にくるべきものではないかと思うが、そう捉えて宜しいか。</li> </ul>
三宅徹治 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なところである。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画は、環境基本条例に法的根拠をもつ計画であり、法的根拠をもたない計画、事業より上位と考えている。</li> <li>・ごみ処理基本計画や緑の基本計画との関係については、庁内の中で検討しているが、環境面における総合的な計画の位置づけということで上位にくるものと考えている。</li> <li>・第4次総合計画との関係については、第4次総合計画はまちづくり全体を捉えたものであり、これとイコールとはなり得ない。</li> <li>・環境という個別的な分野における総合計画の位置づけというかたちで捉えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の総合計画というのは、市の行政全体の方向性を示しているもので、議会の同意、議決を経て策定される根幹的な計画である。</li> <li>・環境基本計画も、環境面での総合計画という位置づけにはなるが、市の総合計画の方は環境面も含めたあらゆる行政施策を含めた総合計画であり、当然そちらが上位になるものである。</li> </ul>
三宅徹治 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このパンフレット（別添資料、第4次総合計画概要版）を見ると、この中に環境という分野がある。</li> <li>・また、児玉氏のご意見は、これから具体的なところで示して頂きたいと思う。</li> </ul>
仁平隆史 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからスケジュールにそって計画のスキーム等が順を追って打ち合わせされていくと思うが、その前に先程の「廃棄物の状況」や大気汚染の原因となる「自動車の流入状況」、また、「緑」であれば10年前と比べてどれだけ減少したかといった、幾つかの市が困っていることに関して具体的なデータがあれば、問題を考えていく上での共通のベースとしていろいろ話を進めることができるのではないか。</li> <li>・また、そのような指標的なデータがあれば、スタート台が皆同じになるのではないか。</li> <li>・次回に示して頂きたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在作業を進めており、データについても集計中である。次回の会議には示したい。</li> </ul>
斉藤軍夫 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に良い行動をしたら、少しは環境が良くなるといったことを、まず10年続けるというような内容を計画書に書ければと思う。</li> <li>・本当はもっと思想が高いといった話もあるとは思うが。</li> </ul>
三宅徹治 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事な話である。</li> <li>・議論は良いと思うが、アウトプットは、やはり地についたものとしたい。</li> <li>・先程の児玉氏のご意見もそういうことだと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料13ページに示した「計画構成のイメージ」の中の「配慮指針編」では、前段の「計画・施策編」を実現するために、日常生活や事業活動において実践できるような行動の指針を示していきたいので、今後、十分議論をお願いしたい。</li> </ul>

齊藤軍夫 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の立場としては、何かアクションを起こすとすると費用の問題が出てくる。</li> <li>・その費用を出せる出せないとなると総論賛成各論反対になることも考えられる。</li> </ul>
江川靖 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育的に何が協力できるのか。今後の「総合的な学習の時間」においても、「環境」については地域でやりやすい内容になると思うが、先程の費用のことや教育委員会の管轄とか様々な問題がある。出来るだけ協力して頂き、活動しやすくする必要はあると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育関係は、これからの個別の施策の中でどんどん出てくる。</li> <li>・また、「教育委員会の管轄」という話については、そのために庁内の関係する 25 課の横断的な検討組織を設置し、環境全般の施策を一体的に進めていく体制を整えており、その中で予算的なものも検討して行く。</li> </ul>
林常夫 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールでは、本会議は今後 6 回の予定だが、今説明頂いたような膨大な資料であると、資料説明が会議の半分になると思われ、メンバーの意見がどのような形でお願いできるのか、また計画に反映されるのかという疑問がある。</li> <li>・全部やろうとすると難しいと思われるので、何か重点をおいた方が良いのではないか。</li> <li>・これだけのメンバーで 1 時間半であり、それを今後どうしていくのか聞きたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は「基本的な考え方」として漠としているが、次回以降は資料 9 「宇都宮市環境基本計画構成のイメージ(体系図)」の中で項目を区切り、論点を絞りながら進めていきたい。</li> </ul>
三宅徹治 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このメンバーでこの時間でどこまで消化できるのかという不安はある。</li> </ul>
大野邦雄 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林氏と同意見である。</li> <li>・私としては月に一度の全員が集まる会議があり、その他個別に具体的な対象を決めていくつかのグループに分けて検討を重ね、それを全員が集まって協議するというイメージがあった。</li> <li>・今の事務局の考え方からすると、予め素案があり、それに対して修正したり付け加えたりという形で進めるという感じを受けた。</li> <li>・私としては、真っ白なキャンパスがあり、そこにワーキンググループとして描き込んでいくという考えを持っていたが、それにしてはテーマが大きすぎるので、予め素案のがあるということだと認識した。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングチームなどで素案の段階から計画策定に関わるという事例は、全国的にも少ない状況にもある。</li> <li>・また、白紙の状態から取り組んだ事例もあるが、議論がまとまらず大変困難であるというコンサルの指摘もあり、今回は骨子の部分は事務局で示し、ワーキングチームの中で肉付けしていくという形で進めていきたい。</li> </ul>
三宅徹治 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白いキャンパスからというのは、大変難しいという気がする。</li> <li>・事務局から出されたものに対してということであれば、意見は出しやすくはなる。</li> </ul>
葛谷理子 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 9 「宇都宮市環境基本計画構成のイメージ(体系図)」を見て、この枠の中にキーワードを入れていくのがワーキングチームの仕事なのかと思ったら、期待が萎んだよ</li> </ul>

	うな気がして残念である。もう少し実質的な議論をしたいと思う。
児玉博利 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、市民対役所というような形の議論になっているが、事務局も宇都宮市民であり、毎日この問題を考えているということである。そういう意味では、役所が押し付けたものを我々メンバーが、ということではないと思う。</li> <li>・真っ白なところから議論するとして、我々メンバーが毎日どれだけ時間を割けることができるのか。月に10回集まれば真っ白なところに何か描けるかもしれないが、事務局よりも良いものが出るのかは難しい。</li> <li>・私は月に1回で十分であると考え。それは、経験豊かな役所の人が考えているからであり、事務局が骨子を示すということであれば、まずは、それを見ようということがあるかと思う。</li> <li>・次回にどのような素案が示されるのか見たいというのが正直なところである。</li> </ul>
仁平隆史 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先程言ったように、我々としては環境の何が問題なのか、どういう全体像があるのかということについては未だ見えていないので、現在問題となっている環境の現状については示して頂きたい。逆に、今後事務局から出されるものは、そういうことを踏まえた全体のたたき台でしょうから、たたき台のたたきになってしまうかもしれないが。</li> <li>・また、そういうものについて、環境審議会のように意見をすることではなく、もっと自由な議論をして、修正するなり構成を差し替えるということで議論を進めていくという認識で良いのではないか。</li> <li>・今回、環境基本計画構成のイメージが示されているが、どうしても我々は与えられたものに塗り絵をするという気になってしまうが、決してそういうわけではないと思う。例えば、どういう形を目指すのか、目標をどういう形でいくつに絞って分かりやすくしていくのか、などについて白紙の状態から行くと確かに毎週1回位のペースでやっていかないと形にはなりにくいと思う。</li> <li>・やはり、事務局からたたき台というのを出して頂き、メンバーが共通認識を持ち、なおかつそれにとらわれずに、自由な意見を出していくというふうに考えていけば良いのではないか。</li> </ul>
三宅徹治 リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画立案という大きなプロジェクトで動いているわけで、ある程度枠組みができていないと、まとまらないのではないか。</li> <li>・1個1個を全部つぶしていくというよりは、議論を何カ所かに集中することもあるかと思う。</li> <li>・その結果として構成図の箱が大きくなったりすることもあるし、次回やってみてうまくないというのがあれば、その時また検討することでもいいのではないか。</li> </ul>
斉藤軍夫 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境でこのような会議の形はこれまでなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加といったこういう形の作り方をするのは初めてである。</li> <li>・現在、第4次総合計画の基本計画の改定に取り組んでいるが、やはり市民会議を設けている。</li> </ul>

齊藤軍夫 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような会議の持ち方というのは時代によって変わっていくわけであるが、初めてということであれば、事務局の方針の形でやらざるを得ないのではないか。</li> <li>・我々は、環境の専門家でもなく、造詣が深いとも私は言えないものであるが、いずれにしても声を出して誰かに聞いてもらえばというところから始まるものかとも思う。</li> </ul>
森本久子 副リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な環境の情報が入っている方とそうでない方がいる。自分のジャンルの事はよく分かるが他のところは分からないという方がいるようだ。</li> <li>・私は、具体的なところでこうしていくんだというところまで煮詰めたものを作らなければ意味がないのではと思っている。</li> <li>・宇都宮で何が問題かといったことを知りたいと言った方がいたが、それも大事だが、目に見える問題はごく限られていて、環境は見えないことが非常に多い。</li> <li>・世界的に問題となっているものに温暖化というものがある。私たちが、自動車や電気製品などいろんなものを使い捨てしているわけだが、宇都宮市として、どう縮小していけるのかということに取り組まなければ意味ないと思う。</li> <li>・今までの贅沢三昧のつけが出てきているわけであり、それを抑えていくために、市民として取り組む、事業者として取り組むという点に関して突っ込んだ意見を交換していかないと、子供達に伝えていけないし、そここのところをなんとかできないものかと思う。</li> </ul>
齊藤軍夫 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、推薦・依頼した事業者に対してどういう期待をしているのか。</li> <li>・出来ること、出来ないこと、やるためにはどんなことが必要なのかなど事業者の立場としていろいろあるが、事業者を参画させた意図はなにか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への影響を強く出している立場にあるのは事業者の方もそうであるし、市民の皆さんもそうである。</li> <li>・今回集まって頂いたのは、計画策定はもちろん、計画策定後、市民、事業者、行政が一体となってこの計画を推進していくという点においてご協力を頂きたいということで選ばせていただいた経緯がある。</li> </ul>
大野邦雄 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から予め素案を出すということで安心した面があるが、会議に先立ち、資料は事前に送付して頂けるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料については、事前に配布して一読して頂けるように努める。</li> </ul>
葛谷理子 メンバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本計画の他の自治体の例も見せて頂きたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後日、メンバー全員に送付する。</li> </ul>